

# 調査結果の要約

## 1 定住性

(1) 区民の居住年数は、「20年以上」の《長期居住者》が68.7%と全体の70%弱を占めている。次いで5年から20年未満の《中期居住者》が18.5%（「5～10年未満」6.5%、「10～20年未満」12.0%）、5年未満の《短期居住者》が11.6%（「1年未満」2.9%、「1～5年未満」8.7%）となっている。

(2) 今住んでいる地域の暮らしやすい点については、「普段の買い物が便利」が57.6%と最も高く、次いで「公園や緑が多い」が46.8%、「通勤や通学などの交通の便がよい」が33.0%、「物価が安い」が32.1%の順となっている。

一方、暮らしにくい点は、「治安がわるい」が26.2%と最も高く、次いで「通勤や通学などの交通の便がわるい」が24.1%、「医者や病院の便がわるい」が21.0%の順となっている。

(3) 今住んでいるところが「暮らしやすい」と感じている人は22.0%であり、「どちらかといえば暮らしやすい」の60.3%と合わせた《暮らしやすい》は全体の82.2%を占めている。一方、「暮らしにくい」(2.2%)と「どちらかといえば暮らしにくい」(14.2%)を合わせた《暮らしにくい》は16.4%である。

(4) 区内に「ずっと住み続けたい」(34.8%)と「当分は住み続けたい」(41.9%)を合わせた《定住意向》が76.7%を占めている。《移転意向》は7.4%であるが、一方で「わからない」と回答した人も15.3%みられる。

(5) 区政への《参加意向あり》は62.9%（「積極的に参加・協力したい」7.4%、「ある程度は参加・協力したい」55.5%）である。なお、《参加意向なし》は14.9%（「参加・協力したくない」3.2%、「あまり参加・協力したくない」11.7%）である。

## 2 広報紙

(1) 「あだち広報」については、95.0%の人が知っている。

(2) 「あだち広報」を読んでいる程度については、「興味のある記事だけ読んでいる」が53.2%、次いで「ほとんどの記事を読んでいる」が26.8%となっている。

(3) 「あだち広報」の“読みやすさ”に対する不満点については、「特になし」が59.2%を占めている。不満点として最も多くあげられているのは「全体の印象が堅い」で、17.3%となっている。

(4) 区政に関する情報を得るために今後期待する広報媒体（メディア）については、広報紙（「あだち広報」）が最も高く（74.0%）、次いで「足立区公式ホームページ」（27.1%）、「ケーブルテレビ足立で放映の区提供番組」（18.6%）と続く。

(5) 公社ニュース「ときめき」について、77.0%の人が知っている。

## 3 消費者センター

(1) 「消費者センター」は46.8%の人が知っている。

- (2) 消費者センターを知るきっかけについては、「あだち広報」が65.8%で最も高く、次いで「わたしの便利帳(リブイン)」が27.2%、「友人・知人から聞いて」が10.7%と続いている。
- (3) 消費者センターをお知らせする車内放送を、聞いたことがある人は12.3%である。
- (4) 日常利用する主な移動手段については、「電車」が58.5%で最も高く、次いで「二輪車(オートバイ・自転車など)」が50.3%、「徒歩」が44.7%と続いている。
- (5) 消費者センターの業務について何か1つでも知っている人は40.9%で、そのうち最も知られている業務は「消費生活相談」で37.2%であった。また、消費者センターの業務を利用したり参加したりしたことのある人は8.7%で、最も利用したり参加したりしたことがある業務は、「消費生活相談」で5.4%であった。
- (6) 参加してみたい消費者センターの講座では、「ライフプラン」が40.7%と最も高く、次いで「健康」が38.3%、「食生活」が29.3%、「環境」が20.7%と続いている。
- (7) 見たことのある消費者講座等の参加募集のお知らせについては、「あだち広報」が56.4%と突出して高い。その他の方法についてはいずれも10%を下回り、「見たことがない」と答えた人も30.6%となっている。
- (8) 消費者施策のうち関心のある課題については、「危険な商品など安全・安心な生活の確保のための情報提供」が42.4%で最も高く、次いで「悪質商法など消費者トラブルの未然拡大防止」が41.0%、「賢い消費者になるための暮らしの知識に関する情報提供」が29.4%と続く。

## 4 日常の区民生活

- (1) 環境のために心がけていることについては、「ごみの分別に気をつけている」(91.0%)が最も高く、次いで「ごみやすいがらのポイ捨てをしないようにしている」(69.5%)、「節水や節電などの省エネルギーを心がけている」(65.0%)の順となっている。
- (2) 災害に備えていることについては、「区の指定した避難場所がどこにあるのかを知っている」(56.9%)が最も高く、次いで「非常食・飲用水を備蓄している」(34.3%)、「自宅に消火器を備えている」(32.9%)の順となっている。
- (3) 日頃の防犯対策については、「ひったくり防止ネットの使用や、バックを壁側に持つなどする」が37.2%で最も高く、次いで「鍵の取り替えや窓の強化など、家への侵入をしづらくする」が27.7%と続き、「特にない」も33.8%みられる。
- (4) 日頃から防犯対策を行っている人の動機については、「治安が悪化したと感じたから」(55.1%)が最も高く、次いで「自分や家族、知人が被害にあった(あいそうになった)から」(33.2%)、「いろいろな防犯設備があるのを知ったから」(15.0%)の順となっている。
- (5) 保健と医療などについては、「安心して受診できる医療機関が身近にある」が33.6%を示している。一方「心の病に不安をもっている」は13.8%、「難病に関する不安をもっている」は10.7%となっている。
- (6) この1年間に参加した地域活動については、「特にない」が54.5%で、半数以上が参加していなかった。参加したものでは「町会や自治会、老人会、子ども会、PTAなどの活動」が28.5%と最も高く、次いで「区が主催する各種イベント、催し物」(13.8%)、「地域の文化サークルや体育サークルなどの活動」(7.2%)

となっている。

(7) 今後参加したいと思う地域活動については、「町会・自治会の運営に関する活動」が14.3%で最も高い。次いで「高齢者の支援に関する活動」が13.4%、「資源のリサイクルに関する活動」が11.0%と続いている。一方、「特にない」は37.7%を占めている。

## 5 区政

(1) 以前と比べてよくなったと思う区の取り組みは、「都市開発」(26.8%)が最も高く、次いで「交通対策」(26.6%)、「自然・緑化対策」(24.5%)、「資源環境対策」(21.2%)、「高齢者支援」(13.6%)の順となっている。

(2) 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組みは、「高齢者支援」(39.1%)が最も高く、次いで「交通対策」(29.2%)、「災害対策」(22.2%)の順となっている。

(3) 区政に対する満足度は、《満足層》が38.5%（「満足」4.6%、「やや満足」33.9%）である。また、《不満層》は32.5%（「不満」8.1%、「やや不満」24.3%）である。

(4) 人権について、《関心がある》は60.9%（「非常に関心がある」19.5%、「少し関心がある」41.4%）を占める。一方、《関心がない》は10.3%（「全く関心がない」1.8%、「あまり関心がない」8.5%）である。

(5) 区の取り組みについての評価・印象は、「区の情報を容易に知ることができる」で《そう思う》が57.8%（「そう思う」12.8%、「どちらかといえばそう思う」44.9%）を示し、最も高い。また、「区民・団体等と区役所が協働して事業を進めている」では「わからない」と答えた人が50%以上を示している。

(6) 区政への区民の意見の反映については、《そう思わない》が28.3%（「そう思わない」11.4%、「どちらかといえばそう思わない」16.9%）を示し、《そう思う》の22.2%（「そう思う」3.3%、「どちらかといえばそう思う」18.9%）をやや上回っている。一方で「わからない」も43.1%にのぼっている。

(7) 社会全体における男女の平等感について、《男性の方が優遇》は45.4%（「男性の方が非常に優遇されている」6.2%、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」39.2%）を占める一方で、《女性の方が優遇》は6.4%（「女性の方が非常に優遇されている」0.8%、「どちらかといえば、女性の方が優遇されている」5.6%）にすぎない。また、どちらかが優遇されていると答えた人の優遇されている場面については、「職場」が47.0%を占め、次いで「社会通念や習慣・しきたり」が32.9%となっている。